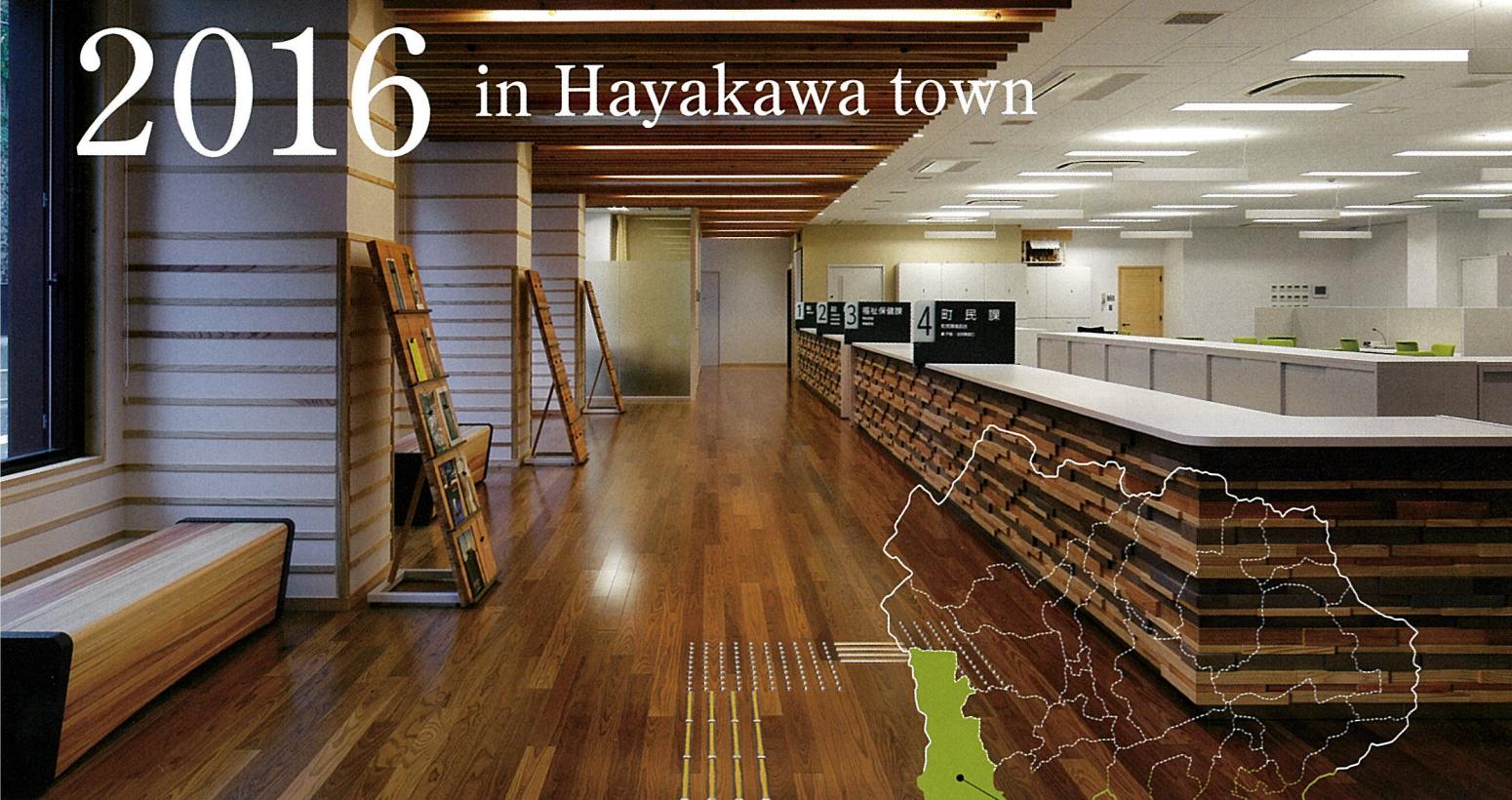


第2回 「全国木のまち」サミット

2016 in Hayakawa town



“木を使う”ことで培われてきた文化や地域連携を鑑み、
山林・森林の上流と下流の相互関係に関わる複数組織の
連携から生まれる技術・経済・文化の発展を考察します。
木材利用の取り組みや事例から持続可能な林業振興のヒントを探ります。



山梨県
Yamanashi pref.

日程 2016年9月3日(土) — 4日(日)

会場 山梨県南巨摩郡早川町 早川町役場

主催 全国木のまちサミット実行委員会

委員長：辻 一幸（山梨県早川町長）、副委員長：岡部政幸（山梨県丹波山村長）、（事務局：山梨県早川町・公益財団法人オイスカ）

共催 やまなし水源地ブランド推進協議会（早川町、丹波山村、公益財団法人オイスカ、NPO木netやまなし、NPO道志・森づくりネットワーク、シナブテック株式会社、株式会社イトーキ、株式会社佐野建築研究所）、早川町森林組合

後援 林野庁・山梨県・公益社団法人国土緑化推進機構、公益財団法人山梨県緑化推進機構、一般社団法人山梨県森林協会、一般社団法人山梨県治山林道協会、NHK甲府放送局、山梨日日新聞社、株式会社山梨放送、株式会社テレビ山梨

協賛 北海道網走郡津別町、北海道上川郡下川町、岩手県気仙郡住田町、秋田県能代市、埼玉県比企郡ときがわ町、東京都板橋区、東京都品川区、東京都港区、東京都西多摩郡檜原村、神奈川県小田原市、愛知県豊田市、岐阜県加茂郡白川町、岐阜県加茂郡東白川村、静岡県浜松市、山梨県北都留郡丹波山村、岡山县英田郡西粟倉村、高知県高岡郡中土佐町、大分県中津市、大分県日田市、富士大学学長、法政大学デザイン工学部、木と建築で創造する共生社会実践研究会（A-WASS）、株式会社計画工房（平成28年6月20日現在）

———— 国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金による助成事業 ————

第2回
「全国木のまち」サミット
2016 in Hayakawa town

ごあいさつ

第2回「全国木のまち」サミット2016の開催にあたり、後援、協賛(呼びかけ人)をいただいた林野庁をはじめとする関係各位に御礼を申し上げます。

国を挙げて地方創生に取り組んでいる中、地方、とりわけ山村地域の創生を図るためにには、森林・林業の再生が不可欠であります。その意味から本サミットにおいては、第1回目の内容を継承しつつ、“木を使う”ことで培われてきた文化や地域連携を鑑み、森林の上流と下流の相互関係の上に産・官・学等の多様な連携から生まれる技術、経済、文化の発展を考察し、木材利用の取り組みや事例から持続可能な林業振興、森林利用について考える場となることを期待しています。

このサミットに会した「木のまち」それぞれが山、森と共に発展していく一助となれば幸いです。

実行委員長 山梨県早川町長 辻 一幸



基調発表、ファシリテーター
「木のまちから生まれる文化：生命（いのち）の尊厳と持続可能な地域連携」

成蹊大学名誉教授
廣野 良吉

1954-58年シカゴ大学大学院経済学研究科卒業、1958-60年カリフォルニア大学バークレー校産業関係研究所所長助手、1960-61年社団法人日本能率協会エコノミスト、1961年より成蹊大学政治経済学部専任講師・助教授、経済学部教授・大学院教授を歴任。その間、海外では、多くのアジア・欧米諸国大学院で客員教授、国連アジア極東経済委員会(ECAFE)調査企画部長、国連開発計画(UNDP)開発政策・評価局長、国連経済社会理事会開発政策委員会(CDP)議長、国際開発評価協会(IDEAS)副会長、アジア太平洋評価協会(APEA)会長を歴任し、国内では国際開発学会会長、日本評価学会副会長、日本政府経済審議会、公害対策審議会、中央環境審議会環境国際協力分科会座長、国際教育協力懇談会、林政審議会、ODA懇談会、対外経済協力審議会等委員を歴任、外務大臣賞「国際開発協力政策功労者表彰」、環境大臣賞「環境保全功労者表彰」、「国際協力機構理事長賞」「瑞宝中綬章叙勲」、「モンゴル大統領特別功労賞」を受賞。現在は成蹊大学名誉教授、(公財)地球環境戦略研究機関参与、(公財)日本ユニセフ協会理事、(公財)国際問題研究所評議員、公益財团法人オイスカ評議員、(一社)環境パートナーシップ会議代表理事、(一財)国際協力推進協会評議員等を兼務。



海外からの報告
「植林・土壤保全・自然環境管理を通じた海外と日本のつながり」

フィリピン・イロイロ州アホイ町長、オイスカ・フィリピン総局会長
ジェット・ロハス

1958年10月生まれ

フィリピン・セブ医科大学卒業 (Doctor of Medicine)

1998年-2006年 イロイロ州アホイ町長

2007年-2013年 イロイロ州議会議員

2015年～ オイスカ・フィリピン総局会長

2016年6月～ イロイロ州アホイ町長 現在に至る。

Time Schedule

Day 1 9月3日(土)

13:00	開会	
13:05	主催者代表挨拶	第2回全国木のまちサミット実行委員長 辻 一幸(早川町 町長)
13:10	来賓祝辞	
13:40	基調発表	「木のまちから生まれる文化:森は生命(いのち)の尊厳と持続可能な地域連携」 廣野 良吉(成蹊大学名誉教授)
14:30	海外からの報告	「植林・土壤保全・自然環境管理を通じた海外と日本のつながり」 ジェット・ロハス氏(フィリピン・イロイロ州アホイ町長、オイスカ・フィリピン総局会長)
15:30	課題別セッション セッション I	「山林・森林の多目的機能:経済、技術、人、文化を通じた上流と下流の相互依存」 《森は愛する人をまもり、愛する人にまもられる》 ①上流機能の産業化 藤田 聰(林野庁林政部木材利用課 課長補佐) 長井 隆志(株式会社佐野建築研究所 代表取締役) ②下流産業の育成 加藤 憲一(神奈川県小田原市 市長) 平井 嘉朗(株式会社イトーキ 代表取締役社長) ③上流と下流産業の連携と域外に開かれた政策・施策が奏でる 持続可能な街の発展と住民福祉の向上 佐藤多一(北海道津別町 町長)
	セッション II	「市町村における循環型森林整備と地域(山村)の活性化への取り組み」
		①木材利用を中心とする林業の振興と政策 関口 定男(埼玉県ときがわ町 町長) 田中美津江(公益財団法人オイスカ啓発普及部国内環境事業統括)
		②山林資源を活用した防災教育の振興と災害復旧への貢献 《木材仮設住宅の備蓄についての提案》 多田 欣一(岩手県住田町 町長)
	総括	①新しい森林政策確立と方向性 ②次回開催に向けて提案 池田 洋光(高知県中土佐町 町長)
18:00	閉会	第2回全国木のまちサミット副実行委員長 岡部 政幸(山梨県丹波山村 村長)
	アトラクション	南アルプス白鳳太鼓
18:30	夕食懇親会	挨拶 第2回全国木のまちサミット実行委員 金丸 信吾(オイスカ山梨県支部会長) 乾杯

※内容は都合により変更することがございます。ご了承下さい。

Time Schedule

Day 2 9月4日(日)

8:30	宿出発	ヘルシー美里発
		パジエロの森
9:00	現地視察	湯島の大杉(樹齢1000年)
		赤沢宿
11:00	解散	気をつけてお帰りください。

※内容は都合により変更することがございます。ご了承下さい。



パジエロの森



湯島の大杉(樹齢1000年)



赤沢宿

お問い合わせ

全国木のまちサミット実行委員会事務局(公益財団法人才イスカ内)

Tel: 03-3322-5161 Fax: 03-3324-7111

早川町役場:総務課企画担当

Tel: 0556-45-2511 Fax: 0556-20-5000